



水と人が奏でるハーモニーのまち

宝達志水町

議会だより

平成24年1月31日 発行

■発行

石川県宝達志水町議会

〒929-1492

石川県羽咋郡宝達志水町子浦そ18-1

TEL (0767) 29-8310 (直通)

FAX (0767) 29-4623

■編集

宝達志水町議会

広報編集特別委員会

第27号



■23年第4回定例会 …… 2

■23年第5回臨時会 …… 3

■一般質問 (6名) …… 4

■委員会ノート …… 7

■委員会視察報告書 …… 9

■町議会日誌 …… 10



宝達志水町消防団出初式

平成23年 第4回

定例会

12月9日～16日

減債基金に7,607万円

土地建物・物品売払収入を積立て

◎ 予 算

○ 一般会計補正予算

歳入歳出それぞれに2億1110万8000円を増額するもの。

主な歳入

・ 地方交付税

6403万3000円

(普通交付税)

・ 国庫支出金

△2531万1000円

円

・ 県支出金

1471万3000円

(中山間地域等直接支

払交付金、子ども手

当システム改修事業

費補助金など)

・ 財産収入

7607万円

(土地建物・物品売払

収入)

・ 寄附金

10万円

(図書購入寄附金)

(子ども手当費負担金

など)

・ 民生費

△1329万4000円

(子ども手当給付事業

費など)

・ 衛生費

1508万3000円

(水道事業会計繰出金

など)

・ 農林水産業費

8720万2000円

(農地事務費など)

・ 商工費

2587万7000円

(温泉施設運営費な



本 会 議

・ 繰越金

778万4000円

(前年度繰越金)

・ 諸収入

7371万9000円

(換地清算金など)

主な歳出

・ 議会費

△34万円

(職員人件費)

・ 総務費

6426万6000円

(基金積立金、施設備

品購入費など)

・ 民生費

△1329万4000円

(子ども手当給付事業

費など)

・ 衛生費

1508万3000円

(水道事業会計繰出金

など)

・ 農林水産業費

8720万2000円

(農地事務費など)

・ 商工費

2587万7000円

(温泉施設運営費な

ごあいさつ

宝達志水町議会議長

北 本 俊 一

昨年一月の改選からはや一年が経過しまし

た。この間、当町議会の第一回定例会の最終日、三月十一日の本会議の真っ最中に発生しました東日本大震災による津波災害や原発事故をはじめ、各地での豪雨災害など甚大な被害が発生した年でした。

当町議会といたしましては、予期せぬ災害に備え、被災地や志賀原子力発電所、研究研修施設などを視察し、災害発生メカニズムや安全知識の習得、防災対策の取り組み検討を進めてまいりました。

新年になり、安全で安心して暮せる施策の推進に向け、厳しい町財政状況ではありますが、町民の皆さまの声に耳を傾け、住みよいまちづくりのため取り組んでまいりますので、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

・土木費
2695万3000円
(除雪対策事業費など)



12月の積雪による除雪作業

出金など)

〔賛成10人、反対1人〕

○介護保険特別会計補正

予算

歳入歳出それぞれに22万4000円を増額するもの。

(車輛購入費など)

〔全員賛成〕

○国民健康保険直営診療

所特別会計補正予算

歳入歳出それぞれに1535万2000円を増額するもの。

(基金積立金など)

〔全員賛成〕

○ケーブルテレビ事業特

別会計補正予算

歳入歳出それぞれに722万1000円を増額するもの。

(業務委託料)

〔全員賛成〕

○水道事業会計補正予算

収益的収入を1277万5000円増額し、収益的支出を447万6000円減額するもの。

00円減額するもの。

(収入は他会計補助金、支出は職員給与費)

〔全員賛成〕

○下水道事業会計補正予

算

収益的支出を31万1000円、資本的支出を670万円それぞれ減額するもの。

(職員給与費)

〔全員賛成〕

○国民健康保険志雄病院

事業会計補正予算

資本的収入を4000万円増額するもの。

(国保会計繰入金)

〔全員賛成〕

◎条例及びその他

○宝達志水町企業立地の促進及び雇用の拡大に関する条例

〔賛成10人、反対1人〕

○宝達志水町国民健康保

険直営診療所管理運営

基金条例

〔全員賛成〕

一部を改正する条例

〔全員賛成〕

○宝達志水町税条例等の

一部を改正する条例

〔賛成10人、反対1人〕

○宝達志水町営住宅管

理条例の一部を改正す

る条例

〔全員賛成〕

○石川県市町村職員退職

手当組合規約の変更

〔全員賛成〕

○石川県市町村消防賞じ

ゆつ金組合規約の変更

〔全員賛成〕

○石川県市町村議員公

務災害補償組合規約の

変更

〔全員賛成〕



4月から指定管理者制度を導入する温泉施設「古墳の湯」

○指定管理者の指定

宝達志水町温泉施設

〔全員賛成〕

◎請願

○子どもの医療費の完全

無料化等の速やかな実

施を求める意見を石川

県に提出を求める請願

書

〔不採択〕

◎議会議案

○子どもの医療費の助成

制度拡充を求める意見

書

〔全員賛成〕

◎平成22年度決算

認定

○一般会計歳入歳出決算

〔賛成8人、反対1人〕

○国民健康保険特別会計

歳入歳出決算

〔賛成8人、反対1人〕

○老人保健特別会計歳入

歳出決算

〔賛成8人、反対1人〕

○後期高齢者医療特別会

計歳入歳出決算

〔賛成8人、反対1人〕

○介護保険特別会計歳入

歳出決算

〔賛成8人、反対1人〕

○国民健康保険直営診療

所特別会計歳入歳出決

算

〔全員賛成〕

○ケーブルテレビ事業特

別会計歳入歳出決算

〔賛成8人、反対1人〕

○下水道事業会計決算

〔賛成8人、反対1人〕

○国民健康保険志雄病院

事業会計決算

〔全員賛成〕

第5回臨時会

11月28日

◎条例関係

○宝達志水町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

〔賛成10人、反対1人〕

質問

林道の側溝清掃、除草の対処策は

町長

緊急雇用創出事業を活用したい



柴田 捷 議員

問

- ① 防災行政無線について。
- ② 主要林道の維持管理について。
- ③ 統合中学校建設について。

答 町長

① 導入時期は、東日本大震災を受けて、新たな補助事業創設の可能性もあり、この動向を見極め検討していきたい。

② 平成21年度から3年間は、緊急雇用創出事業にて維持管理が出来た。林道の重要性を鑑み、これまでと同等の維持管理が出来ればと考えている。

この事業は、来年度も継続と聞いており、予算の範囲内で側溝清掃や除草作業について十分効果が出るよう活用したい。

③ 建設事業費25億円には2校の取り壊し、備品購入等を含む統合中学校建設に係る事業費全てであり、財源は国庫支出金、起債、統合中学校施設整



緊急雇用創出事業の林道除草作業

答 教育長

③ 中学校統合準備委員会、現在、運行計画等を検討。その方針を参考に、スクールバスの台数やその維持管理費用等を確定したい。

答 環境安全課長

① 防災行政無線同報系システム基本構想の策定は、電波伝搬机上調査やランニングコスト、屋外局の配置検討、システム構成図の作成、概算事業費について、専門業者に委託し検討を進めている。

備基金で賄う。

町有施設の維持管理は

町長

計画的に実施できるよう努めたい



土上 猛 議員

問

町有施設の維持管理について。

答 町長

町有施設の維持管理に不可欠な除草作業等は、平成22年度から国の「緊急雇用創出事業臨時特例交付金」を活用し、離職された方などを一時的に雇用し、専従として町有施設の除草など一連の作業を実施してきた。

当初、この補助事業は今年度限りで終了するものと承知していたが、東日本大震災発生に伴い、さらに1年間延長される予定である。除草作業をはじめ、町有施設の維持管理は、環境美化や安全対策上の観点からも、大変重要な業務と認識しており、町のイメージにも少なからず影響するものと理解している。

今後の維持管理については、補助制度が活用できなくなった場合におい



町職員による公共施設清掃奉仕作業

ても、町シルバー人材センターのマンパワーや民間事業者の協力により、計画的に一連の作業が円滑に実施できるよう努めたい。さらに、各担当課職員による自助努力も考えあわせ、快適な環境の維持に極力努めたい。



久保喜六 議員

結婚祝い金の創設を

町政を問う

町長
現時点では考えていない

問

①町内で未婚者に対しての結婚応援・婚活について。
②若者等定住バックアップ制度について。

答 町長

①町商工会青年部で実施した婚活イベント「スイーツde(で)婚活パーティー」には5組のカップルが誕生。このカップルが、めでたく結婚までこぎ着けられれば、地域の活性化にもつながり、誠に喜ばしいと思う。町は後援者という立場であるが、助成金は交付していない。町商工会青年部の方が独自の力で取り組まれたものであり、私の考える民間活力による地域活性化の取り組みの良い例である。

行政からの助成に頼ることなく、民間が独自に取り組んでいくことで、地域活性化の効果がより期待出来ると考えている。



民間活力による取り組みと町のふるさと振興施策がうまく連携できれば、より効果的な取り組みが作り出されるものと考えている
②第1次行財政改革で、制度の見直しにより、現在、住宅新築等奨励金、U・イターン者奨励金、出産祝い金の各制度がある。U・イターン者奨励金は、第2次行財政改革の検証の中、今年度で廃止とする。
来年度からは住宅新築等奨励金と出産祝い金の2つの制度に絞り、定住化促進に取り組む。随時、制度を検証する中で、新たな方向性を検討したい。
結婚祝い金の創設や出産祝い金の拡充は、定住化促進への効果が今ひとつであり、現時点では考えていない。

総合防災訓練を見直せ

町長
避難所設置訓練や運営訓練を検討

問

①行政評価の導入について。
②総合防災訓練の見直しについて。

答 町長

①行政評価制度は、事務事業について、具体的な数値目標や計画に基づき事業を行い、その結果を評価しつつ、次の実施にあたっての改善や選択を経て、効率的、効果的な行政事務へ発展させて行くのに必要なもの。
行財政改革推進の観点から、出来る限り早い時期に導入したいと考えている。

②多くの住民に参加いただいており、災害時に役立つ体験を重視した内容としている。
自主防災組織が行う独自の防災訓練の参考となるよう、さらに住民参加の訓練を多く取り入れ実施できるように、見直していきたい。

自主防災組織が行う独自の防災訓練の参考となるよう、さらに住民参加の訓練を多く取り入れ実施できるように、見直していきたい。



総合防災訓練の倒壊家屋現場救出訓練

これまでに、災害対策本部の設置訓練、住民の避難誘導訓練は実施したが、避難所設置訓練や運営訓練は行っていないので、今後、実施に向けて検討していきたい。
集落の標高表示は、平均的標高だけでなく、集落名サインや集落会館の標高も、住民の防災意識の高揚に重要な要素と認識しており、検討していきたい。



寶達典久 議員

若者定住推進室等の立ち上げを

町長 各課横断的な取り組みで進めたい



守田幸則 議員



龍宮城コンサート

問

① 若者定住について。
 ② 宝達山整備計画について。
 ③ 二級河川宝達川の整備について。

答 町長

① 若者等定住バックアップ制度の中で、昨年度、住宅新築等奨励金を拡充。固定資産税の新築軽減部分以外での町独自の減額は、近隣市町の動向を参考に検討したい。若者定住推進室等、専門部署の設置まで至らないと認識しており、各課横断的な

取り組みを進めたい。町総合計画の、住民一人ひとりが住みよさを実感し、誇りを持って未来を語り、若者達が行き交う、そうした町づくりを思い描いており、その実現に向け、今後も各種施策に取り組みたい。

② 今年度、山頂周辺を対象に測量業務を実施し、現状を把握している。今後、1月中旬に検討委員会を設置し、ハード整備やソフト事業のほか、交流人口拡大に向けた施策等の意見を得たい。アクセス・道路の整備促進や里山保全など、近隣市町の協力も得ながら整備を進めるほか、交流人口の拡大に向け、同山で実施のイベント情報を発信し、関係市町との連携を深めていきたい。

③ 地元において、二級河川宝達川整備促進協議会を再開していただき、町は協議会と一緒に、町に對し要望活動を実施していききたい。

国保会計への法定外繰入れを

町長 国保被保険者の応分の負担で賄う



小島昌治 議員

問

① 第5期介護保険事業計画について。
 ② 町民が安心して病院に受診できるために。
 ③ 国民健康保険税について。
 ④ 不況対策について。
 ⑤ 子ども子育て新システムについて。

答 町長

① 介護給付費準備基金の考え方は、計画期間の最終年度に残高がある場合、次期保険料を見込むにあり、その基金を取り崩すことが基本。県の財政安定化基金と町保有の介護給付費準備基金を取り崩し、あわせて介護保険料に充てることを考えている。介護保険料の減免は、取扱要綱に基づき運用している。

② 生活困窮者等に対する窓口での一部負担金を無料、または低額な料金で診療を行う無料低額診療事業を、志雄病院で実施

する予定は、現段階ではない。

③ 国民健康保険特別会計の運営は、第一に受益者である被保険者の応分の負担により賄わなければならない。一般会計からの法定外の繰出金は現在の考えではない。

④ 建築物耐震改修促進補助金制度を実施しているほか、住宅新築等奨励金制度、バリアフリーに対する補助金制度の自立支援型住宅リフォーム推進事業、下水道への接続における住宅改修資金融資あつ旋と利子補給の助成金制度を実施している。

現在、住宅リフォーム助成の実施は予定していない。

⑤ 本町では、新しい制度のもとで、いかにして適切な保育環境を築くかを主眼に、制度の詳細が示されるのを待っており、制度の是非については、国に働きかけることは現在考えていない。

子どもの医療費の助成制度拡充を求める意見書

昨今の厳しい経済状況の中、家庭における子育てにかかる経済的負担がより大きくなっていることが、少子化の大きな要因となっている。

そのためには、子育てに対し負担を感じる保護者の不安を少しでも解消し、安心して子どもを産み育てる環境づくりが重要である。

子どもは社会の宝であり、未来を担う子どもの健康を守ることは社会の責任として、各市町が子どもの医療費を助成し、少子化対策の一環としている。

現在の市町の厳しい財政状況においては、子どもの医療費の助成制度の財政安定化を図る上でも、石川県や国の補助が必要である。

よって、石川県におかれては、子どもの医療費の助成制度を拡充するとともに、国に対する医療費の負担軽減に向けた活動について、積極的に取り組まれるよう強く要望する。

議案提出者 久保喜六 議員



委員会ノート 第4回定例会会期中の審査内容

総務産業建設常任委員会

問 石川縣市町村消防団員

等公務災害補償等組合負担金を、なぜ、この時期に多くの保険料をかけるかといけないのか。

答 今年度限りの増額。

東日本大震災で亡くなったたり、行方不明の多くの消防団員等への支払いの財源とするため。

問 新条例の宝達志水町企業立地の促進及び雇用の拡大に関する条例では、5年を経過するまでに休止、廃止した場合、助成金を返還することができず、前条例でも返還はできるのか。

答 返還の項目はあるが、期間の定めはない。前条例に基づいての協議

が必要。

問 新設の場合、助成金の限度額は。

答 限度額1億円の範囲内で、投資額の5%。

問 宝達志水町温泉施設の指定管理者が、管理を行う範囲は。

答 温泉施設、駐車場、屋外トイレ、周辺の通行出来る道路と植栽関係業者とは現地確認し、範囲を明確にしている。

問 指定管理者の温泉施設に対するノウハウは。

答 平成22年度に、管理運営委託で古墳の湯を1年間管理していた業者。その経験を發揮するとうことで申請があった。

問 指定管理で大幅

な収益や欠損が出た場合はどうなるのか。またペナルティはあるのか。

問 町から指定管理料を支払い、その委託料の中で、業者が収支をとり行う。仮にそれが増えても減っても、業者の責任のなかで経営を行う。募集要綱にも明記し確認している。

問 ケーブルテレビの加入率が低い。防災の連絡網として、全世帯に加入してもらおうよう試算、検討してみては。

答 加入率をあげる努力はしている。七尾市は防災対策としてFM受信機で対応。本町も町民への周知に何が有効か、安心安全も含めて地域防災計画の中で検討したい。

問 職員用に購入するパソコンの機種は。

答 性能を指定し、業者に機種を選択させる方法で、出来るだけ安く性能の良い機種を選ばない。



職員用パソコンを更新

教育厚生常任委員会

問 生活のしづらさに関する調査の対象者は。

答 身体障害者手帳を持っている人と手帳は持っていないが、長引く病気やケガで生活のしづらさが生じている人。

問 対象地区はどのように決めたのか。

答 国の方で対象地区を指定。

問 調査員は誰か。

答 町職員が対応。

問 御館跡の調査は。

答 町の計画に基づき申請し実施している。国の指摘事項をクリアーした段階で、次の方向付けがされる。

問 国の指摘事項とは何か。

答 前回の指摘事項は、試掘調査による確認作業。

問 国指定に向けての施策は。

答 県文化財課と調整し、指導を受けながら進めている。

問 喜多家と岡部家の入場者数は。

答 11月末現在で、喜多家は2295人。岡部家は1522人。

問 入場料金の減免及び減額は。

答 町内の小中学生、町内在住者で構成する団体から申請があった場合は、免除の取り扱い。能登半島広域観光協会の岡部家での「蔵コンサート」は減額した。

問 重要・準要保護生徒援助費が、税法改正で利用できるなくなった人はいらぬのか。

答 いない。

問 障害者自動車運転免許取得費助成事業の障害の等級は。

答 身体障害者手帳1級から4級の方。

問 国民健康保険自立等支援基金借入金返済計画と借入利率は。

答 1年据え置き5年償還。借入利率はない。

問 償還期間を延ばすことは出来ないのか。

答 県の要綱に定められており、延ばすことは出来ない。

問 本町における国民健康保険税の課税標準所得額の平均は。

答 約44万円。

問 介護認定調査の車輛購入は。

答 軽四輪自動車。



国指定重要文化財「喜多家」

問 学校給食の食の安全は全部業者任せなのか。町で判断出来るのか。

答 食材の安全の判断基準を町では持っていない。押水中学校と志雄小学校に栄養士が配置されており、ここで献立や仕入れ先を決めている。学校給食会から安全なものをお願いしている。

問 学校給食の安全は全部業者任せなのか。

答 第3ステップで電子カルテ化に移行し、医療機器の更新も行う。費用的にはどのくらい掛かるのか。

問 第2ステップで約300万円。第3ステップで約6000万円の予定から7000万円の予定。

問 契約方法は。

答 一者随意契約の予定。全部一貫性があり、各ステップごとに業者を変えざる事出来ない。不利にならないよう検討し進めていきたい。

問 新病院の構想もあるが、システムを持つて行くことは出来るのか。

答 新病院の構想と併せ最終ステップを計画し、ロスのないような方向

問 電子カルテ化するのに、まだ何が必要なのか。

答 検査オーダーリングシステムは第1ステップ。第2ステップは、レントゲン、リハビリ、看

問 検査オーダーリングシステムは第1ステップ。第2ステップは、レントゲン、リハビリ、看

問 検査オーダーリングシステムは第1ステップ。第2ステップは、レントゲン、リハビリ、看

病院運営特別委員会

問 検査オーダーリングシステムを導入し、約1カ月経つが現場の反応は。

答 業務終了後、各部署が集まり検討。課題をその日のうちに解決するよう進めており、スムーズに業務を行えるようになってきている。

問 電子カルテ化するのに、まだ何が必要なのか。

答 検査オーダーリングシステムは第1ステップ。第2ステップは、レントゲン、リハビリ、看

問 検査オーダーリングシステムは第1ステップ。第2ステップは、レントゲン、リハビリ、看

問 検査オーダーリングシステムは第1ステップ。第2ステップは、レントゲン、リハビリ、看

問 検査オーダーリングシステムは第1ステップ。第2ステップは、レントゲン、リハビリ、看

問 検査オーダーリングシステムは第1ステップ。第2ステップは、レントゲン、リハビリ、看

で検討している。

問 宝達志水町国民健康保険直営診療所管理運営基金条例の設置は、基金を何か使用する目的があるのか。

答 診療所の施設改善に要する場合と事業運営の財源に不足が生じた際に基金を処分できる。医療機器購入及び赤字が出た場合の補填に充てたい。



オーダーリングシステムを視察する病院運営特別委員会

委員会視察報告書

議会運営委員会 (10月17日、18日)

宮城県内 東日本大震災津波被災地

町議会では、東日本大震災の発生後、津波・高潮ステーションや志賀原

子力発電所等の視察など、災害対策を重要課題として取り組んでおり、町防災計画を見直すに当たり、津波対策として取り組むべき課題を調査するため被災地を訪れた。

仙台空港周辺では、津波が高さ6mの護岸、10mの砂丘、幅100mの松林を乗り越え、内陸6kmまで達しており、住宅や農地などの形跡はなく、空き地には瓦礫と車が山積されていた。

漁港の名取市閑上は、壊滅的な被害を受けたが、現在は復旧作業が進められ、瓦礫は撤去され基礎部分だけが残った状態であった。瓦礫から分別された碎石が、復旧用資材として再利用するため、山積みになっていた。

海岸近くでは、船がひっくり返ったまま放置され、学校、特別養護老人ホームなどの大きな建物



名取市閑上での復旧作業



被災家屋 (仙台市内)

被災地では、損壊した家を修理して、住み続けようとする人を見かけたが、アパートなどは放置されたままだった。

老人ホームでは、避難が出来ず、多数の犠牲者が出たとのことであった。

七ヶ浜町では、海岸付近の海拔が低く入り込んだ所に被害が集中したが、役場は高台にあったため、災害拠点の役割を果たせたそう、公共施設の配置や構造も検討する必要がある。

今後の津波対策には、防潮堤などハード面の整備だけでなく、有事における情報伝達や避難方法の確立などソフト面の整備に取り組む必要性を実感した。

病院運営特別委員会 (10月4日、5日)

岐阜県中津川市 国民健康保険 坂下病院 関ヶ原町 国民健康保険 関ヶ原病院

志雄病院と同じ療養型病床を有する2病院を視察した。

中津川市の国民健康保険坂下病院は、高齢化率が30%に近く、長野県からの患者も多く、救急や訪問も県を越えて対象地域としている。

最先端の高度な医療機器を整備し急性期医療に対応するとともに、慢性期疾患の人や高齢者のため、病気になる健康づくりと介護まで含めた

地域包括ケアを提供しており、地域保健・医療・福祉の拠点としている。

建物は、災害拠点施設にと基礎免震構造とし、1階廊下はトリアー作業の場所とするために広くしている。また、「自然との共生」のため、屋上庭園を設けている。

関ヶ原町の国民健康保険関ヶ原病院は、隣接する国保保健福祉施設「やすらぎ」と連携して、支え合える地域包括医療・ケアをめざしており、病院長が施設長も兼務し、特定健診、特定保健指導、訪問看護、退院支援などを実施している。

意識改革のため、病院機能評価機構受審や総合医療情報システムの導入において電子カルテ、オーダーリングシステム、医事会計システムなどほぼ



坂下病院にて



関ヶ原病院にて

全システムに及んでいる。医師不足対策としては、臨床研修の地域医療を受け入れなどで対応しており、看護師については、看護学校の実習病院となっている。

経営効率化のため、棟再編・病床の適正化、SPDの導入をしている。今回視察した2病院は、いずれも地域に根ざした医療を展開しており、大いに参考になるものだった。

町議会誌 10月～12月

【10月】

- 2日 押水地区敬老会 YOSAKOIソラン日本海本祭
- 3日 県町村議会議長会 監査会
- 4日 病院運営特別委員会視察
- 6日 志雄地区ほ場整備事業完工式
- 6日 町村監査功労者表彰式・町村監査委員全国研修会
- 12日 広報編集特別委員会
- 13日 県町村議会議長会臨時総会・公有施設視察
- 17日 蓮華山大相撲
- 17日 議会議長会視察
- 19日 郡町議会議長会視察
- 23日 町総合防災訓練
- 24日 議会改革特別委員会



【11月】

- 2日 郡市戦没者慰霊祭
- 3日 町功労者顕彰式
- 4日 広域圏議会運営委員会
- 5日 宝達山水源の森づくり協会植樹会
- 6日 金沢能登連絡道路四車線化起工式
- 7日 渚会理事会・渚会永年勤続職員表彰
- 9日 R D F 議会運営委員会
- 9日 国道471号宝達志水・津幡間整備促進期成同盟会と河北縦断道路建設促進同盟会の合同要望会
- 10日 決算特別委員会
- 11日 野々市市制施行式
- 25日 例月出納検査
- 29日 議員連盟行政視察
- 29日 YOSAKOIソラン日本海下呂温泉大会
- 29日 能登空港利用促進
- 26日 定期監査
- 25日 例月出納検査
- 25日 議会改革特別委員会



【12月】

- 9日 議会運営委員会
- 12日 教育厚生常任委員会
- 14日 病院運営特別委員会
- 14日 総務産業建設常任委員会
- 15日 国会議員との懇談会
- 16日 町村議会議長全国大会
- 17日 学校給食委員会
- 22日 議会運営委員会
- 22日 渚会理事会
- 24日 広域圏議会定例会 R D F 組合議会
- 24日 能登地区町議会連絡会研修会
- 25日 例月出納検査
- 25日 県町村議会議長会議長協議会
- 28日 議会運営委員会
- 28日 町議会全員協議会
- 28日 町議会臨時会
- 28日 教育厚生常任委員会
- 13日 病院運営特別委員会
- 14日 中学校建設特別委員会
- 16日 議会運営委員会
- 16日 町議会定例会再開
- 20日 渚会理事会
- 22日 例月出納検査
- 26日 能登総合開発促進協議会地域視察

広報編集特別委員会

委員長 津田 勤

副委員長 林 一郎

委員 北 信幸

委員 宮本 満

